



新学期がスタートして3週間がたちました。新型コロナウイルス感染症に関するニュースに不安や希望を感じる日々が続いていますが、縮小された形とはいえ4月7日には無事入学式を挙行することができました。みんなで感謝し喜びたいと思います。ありがとうございました。

さて、4月の子どもたちの様子を見てみると、新しい学年の顔になってきたことを感じます。中でも昨年度も頼りがいのある5年生でしたが、今ではすっかり貫禄が付いた新6年生は、太白台小学校の中心として、また、リーダーとして様々な活動に取り組んでいます。少し前まで1年生だった2年生は、新1年生と比べるととても頼もしく大きく感じられます。そして、園児だった新1年生も、毎日階段や坂道を元気に歩いて登校し、よく学びよく遊んでいます。どの子どもも若葉のように瑞々しく、ぐんぐん成長している様子がよくわかります。

そんな子どもたちですが、たまには学校に行きたくない日や体調の整わない日もあるかもしれません。そんな時は、ぜひご家族の皆様の前向きなご支援をお願いします。

入学式での6年生の 校歌、きれいでした



よい整頓・おいしい給食



4月7日の入学式では、36名の凛々しい姿が見られました。初めてのことばかりで緊張したり戸惑ったりすることも多かったと思いますが、6年生の歌う校歌を集中して聴く姿が素晴らしかったです。下駄箱のズックのかかとの位置も、日を追うごとに揃ってきました。

13日からは給食も始まり、ランチルームで行儀よく静かに食べる姿やお代りをする様子も見られ、これからが楽しみな1年生だと感じました。

交通安全指導 ありがとうございました

3、4年生の保護者の皆様とPTA環境部のお世話により、4月7日から13日の一週間、横断歩道等で安全指導や挨拶指導をしていただきました。入学して間もない1年生をはじめとして子どもたちは、皆様に安全を見守ってもらったり優しく温かい声をかけていただいたりして、安全に、そして元気に登校することができました。

また、交通推進隊の皆様、見守りボランティアの皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。

